

第19回「子どもに無煙環境を！ 全国キャンペーン」事業 2007年（平成19年）2月

ポスター，マーク，標語・川柳 コンクールの審査，集計

【キャンペーンとコンクールの目的】

- ・子ども達や非喫煙者の健康をタバコの煙から守り，未成年・思春期の喫煙防止，喫煙者の禁煙促進など，公共の利益のために，「たばこはやめよう！，吸わないで！ - 子どものために，みんなと自分のために」をメインテーマにコンクールを行い，その入選作品を活用して，啓発カレンダー，ポスター，シール，文具などを制作し，家庭や身近な環境で，受動喫煙の防止と禁煙推進の広がりを促進しようとするものです。

【審査会】2007年1月22日（月）12時半～17時 大阪がん予防検診センター

【審査員】

（順不同）

成田貴雄（厚生労働省 健康局，生活習慣病対策室・室長補佐）
鬼頭英明（文部科学省 スポーツ・青少年局，学校健康教育課 健康教育調査官）
松下彰宏（大阪府健康福祉部，健康づくり感染症課長）
堀田 穰（関西紙芝居文化研究会・代表）
新谷隆夫（水彩画家，前中学校長），瓜生隆子（前小学校長）
山田 彬（コピーライター），丹羽善二（前中学校美術科教諭）
垣内みどり（たばこ問題を考える会・和歌山 世話人） 計9人

【審査基準と審査方法】

- (1) 啓発趣旨に合致し，タバコの害・迷惑を表現している。タバコを吸わないことを推奨する。明るく，シンプル，わかりやすい。ユニークで，自力，アピール力がある。などで審査しました。
- (2) 目や顔の表情が豊かな作品の評価が高く，××や><などの表現作品の評価は低くなりました。
- (3) 審査は，地域・学校名等を伏せて一次～四次（最終）審査を行い，最終審査では3ランクの得点投票を行い，合計得点を参考に，協議の上，賞を選定しました。
- (4) 審査は，ポスター部門以外は，年齢を分けずに行いました。
- (5) 各部門の最優秀を厚生労働大臣賞，文部科学大臣賞とし，大阪府内の入賞作品の中から，大阪府知事賞・教育委員会賞を選定しました。（該当作品がない場合もあります）

(1) 第19回「子どもに無煙環境を！」コンクール2006～07 部門別応募数

	ポスター		マーク		標語	
	点数	%	点数	%	点数	%
・幼児	160	8.5	1	0.2	3	0.0
・小学1～3年生	561	29.9	5	1.2	851	7.4
・小学4～6年生	675	36.0				
・中学生	318	16.9	21	5.1	1,468	12.7
・高校生以上	163	8.7	381	93.4	6,925	60.1
・不明					2,285	19.8
合計	1,877		408		11,532	

応募総数= 13,817

(2) 第19回「子どもに無煙環境を！」コンクール2006～07 地域別応募数

	ポスター		マーク		標語	
	点数	%	点数	%	点数	%
・北海道	4	0.2	5	1.2	184	1.6
・東北	24	1.3	10	2.5	699	6.1
・関東	235	12.5	43	10.5	2,012	17.4
・北陸,信越,中部	1,131	60.3	19	4.7	1,688	14.6
・東海	212	11.3	34	8.3	1,386	12.0
・近畿	190	10.1	24	5.9	1,363	11.8
・中国	30	1.6	24	5.9	532	4.6
・四国	37	2.0	1	0.2	155	1.3
・九州	11	0.6	247	60.5	1,124	9.7
・沖縄,海外	3	0.2	1	0.2	104	0.9
・不明					2,285	19.8
合計	1,877		408		11,532	